

防災避難訓練

「消火器に挑戦」

12月15日(月)に防災避難訓練を実施しました。本校の調理室から出火したという想定で、5校時終了前に非常ベルが鳴り、全校生徒がクラス別に指定されたルートを通してグラウンドに集合しました。

その後、佐世保市東消防署波佐見出張所の署員の方から、避難訓練の講評と火災予防についての講話をいただきました。講話では、暖房器具の使い方についてご指導いただきました。最後に、代表生徒6名が、消火器の基本3動作「安全ピンを抜く」→「ホースを火元へ向ける」→「レバーを強く握り噴射させる」と、炎ではなく火元をねらって放射する要領を習い、火元のコーンへめがけて消火訓練を行いました。

これからは空気が乾燥し、風も強くなり、暖房器具など火を扱う機会が増えます。火災が起こりやすい季節を迎え、生徒の防火意識が高まりました。

(教頭 木村 広)



歯科講話

「歯周病の怖さを知ろう」

12月18日(木)、校医の早岐誠先生(はいき 歯科)をお招きして、3年生を対象に歯科講話を実施しました。高校までは義務化されている学校検診が終了すると、定期検診の受診機会がなくなり、痛みを伴わない歯周病が放置されることが予想されますので、高校卒業前に、生徒が歯周病について学び、歯と口の健康問題を自分の力で解決する能力を身につけることが目的です。早岐先生は、たくさんの画像を使い、クイズ形式で、歯周病の怖さと早期予防の大切さについて、大変分かりやすく指導していただきました。

受診勧告を受けている3年生は、卒業前に、必ず歯科医を受診をしてください。健康な身体で、就職や進学に臨みましょう。(教頭 木村 広)



卒業制作展

「最後まで責任を持つ」

今回で18回目となる陶芸デザインコース卒業制作展が、12月17日(水)から21日(日)までの5日間、佐世保市博物館島瀬美術センターで開催されました。

展示会が成功するかどうかは、前日の作品搬入・飾りつけでの生徒の動きを見るとよく分かります。今何をすべきで、次に自分がどう行動するのか、生徒たちが自分で考え、行動することができる学年の卒業制作展は、ほとんどが素晴らしいものとなります。今年は、生徒の動きもよく、心配していた作品数の少なさを十分カバーした素晴らしい展示会となりました。

今年の3年生から、絵画、デザイン、陶芸の各分野に分かれて、週6時間の課題研究の授業を使って4月から制作を行ってきました。美術科のそれぞれの先生が分かれて、専門性を生かし指導してきました。この展示会でその成果が形となって現れたと感じます。生徒たちも手を抜くことなく、飾り付けの前日まで制作に励んでいました。何日も徹夜をして、作品の前で葛藤している生徒の姿は想像できないかもしれませんが、作品を通して頑張っている生徒たちのパワーを感じていただければと思います。陶芸デザインコースでの3年間の集大成。この展示会を通じて生徒自身が何かをつかみ、少しでも成長してくれればと思います。

(美術科主任 岩永 聡志)



〈校訓〉 自律・積極・究理

波高通信



〈スローガン〉 人間性を育み、仲間を支え、個性を磨く

第9号 平成26年12月24日発行

校長室より

「この1年を振り返って」



12月になると必ず読む小説があります。ディケンズの「クリスマス・キャロル」です。

作品の主人公は、スクルージという商人で、心が冷たく貪欲で、人間の心の温かみや愛情などは全くなく、金儲けにだけ一生懸命な人物です。あるクリスマスイブ、彼の前に重い鎖につながれた、商売仲間のマーレイの亡霊が現れ、「この鎖は、生前、周りの人たちに温かい心遣いをしなかった自分が作り出したものだ。しかし、お前には、新しい人生へと生き方を変えるためのチャンスが、まだ残されている」と伝えて消えます。

それから、3晩続けて3人の幽霊がスクルージのもとを訪れ、過去、現在、未来のクリスマスを彼に見せます。

第1の幽霊(過去)は、スクルージが夢を持っていた少年時代や素朴な心を持っていた青年時代の姿を、第2の幽霊(現在)は、貧しくてもささやかな愛で結ばれた彼の使用人の明るく過ごす家族のようすなど、たくさんの幸福なクリスマスを見せます。

ところが、第3の幽霊(未来)が見せたスクルージの未来は悲惨でした。死んでも誰にも悲しまれるどころか逆に喜ばれます。さすがのスクルージも、マーレイの亡霊と3人の幽霊に感謝するとともに生き方を変えようと決心し、生まれ変わった気持ちで、みんなと共にクリスマスを祝います。その後の彼は、すすんで貧しい人達を助け、よい友となり、晴れやかに笑って残りの人生を過ごすのでした。

私は、この小説を読むたびに、人とかかわりの大切さや他人に対して温かな心を持って接すること大切さを思います。この4月以降、私は、生徒の皆さんからの明るい笑顔と元気なあいさつをいただきました。また、保護者の皆様からは、爽やかあいさつ運動、除草作業、体育祭、文化祭などあらゆる場面で、情熱溢れるご協力をいただきました。さらに、地域の皆様からは、美術・工芸科新設記念式典や野球の甲子園予選を始め多くの行事で温かい励ましのことばをいただきました。私も、スクルージのように心が冷たく貪欲にならず、皆さんのように、常に人に対して優しく温かくありたいと思っています。

皆さんは冬休みに入ると、家族、友達や親戚の人たちと過ごす機会が多くなると思います。ぜひ、皆さんの周りにいる人との関わりを大切にして、温かく接してほしいと思います。そうすることで、周りの人たちは、あなたに温かく接するだけでなく、ピンチのときにあなたを励ましてくれる応援団となってくれることでしょう。

平成27年が皆さんにとって素晴らしい年となることを心からお祈りします。

(野田 定延)



チャールズ・ディッケンズ



1年百人一首

優雅な熱い戦い！

1学年では12月10日(水)5・6校時に、「日本の伝統文化に親しみながら学級のチームワークを高めよう」「主体的に行事に取り組み、楽しもう」の二つのテーマのもと、「学級対抗“百人一首大会”」を開催しました。

実施にあたっては、各クラスから選ばれた学年実行委員と1学年の生徒会役員が対戦表の作成や札の整備、大型カルタ(デカルタ)の作成、当日の会場設営などを行いました。

授業で学習した百人一首ですが、始めはなかなか覚えられず、下の句が詠まれるまで全く動けない生徒がほとんど。しかし、班で作戦を立て練習を繰り返すうちに、上の句で取れる札が徐々に増えていきました。

第1回戦は班対抗戦。当日の体育館はかなり冷え込みましたが、寒さをもとめせず激しい戦いが繰り広げられました。練習の成果か上の句が読まれるとすぐに札を取る姿が多く見られ、中には半分以上の札が頭に入っている生徒もいたようです。読み手は1学年の先生方で、十二単の姫君や巫女さんも登場しました。

第2回戦は、各クラスの代表選手による、巨大かるた取り「デカルタ」。体を張った熱戦となりました。読手には校長先生、教頭先生、そして平安貴族に扮したALTのカイル先生が登場し、大いに盛り上がりしました。

この戦いを征したのは、**1年5組**。個人の部で優勝と準優勝、班対抗戦でも優勝、デカルタ戦でも優勝と、圧倒的な強さを見せました。

(国語科主任 竹下 夏佳)



2年インターンシップ

それぞれの4日間

2学年のインターンシップを、48の事業所で12月9日から12日までの4日間実施しました。商品の瓶を落とすのではないかと夢にまで見た生徒(酒造メーカーで実習)もいました。それでも、『**実習中、自分から挨拶をする**』『**笑顔でお客さんに接する**』等、各自が目標を持って臨みました。

『**自宅が一番近いスーパーなのに、仕事で歩き回るととても広く感じた**』 教室とは違う新鮮な雰囲気の中、とまどいながらも様々なことを感じたようです。

『**休憩時間には笑っているのに、仕事が始まると真剣な表情になって集中。こういうところが私たちと社会人の大きな差だと思いました**』(ホテルで実習) 『**多忙な中でお客さんのことを最優先に考えるのは、当たり前のことですが、誰にでもできることではありません。忙しく働いた後のご飯は本当に美味しかったです**』(レストランで実習)

日数を重ねる内に充実感や感謝の気持ちが高まっていったようです。『**きついから早く帰りたいとは一度も思いませんでした。ずっと続けたいと思ったくらいです**』(ホームセンターで実習) 『**自分の子どもが生まれたときにしっかり子育てができるようにと、熱心に指導してくださいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです**』(幼稚園で実習)

4ヶ月後にはもう3年生。まだまだのんびりしている面が見られた2年生にとっては、真剣に進路について考える貴重なきっかけになりました。

(2学年主任 宮原 隆史)



3年陶芸教育

マグカップの絵付けに挑戦!!

第3学年は、陶芸教育の一環として、12月10日(水)、町内榊木場郷にある**長崎県窯業技術センター**に伺い、以下の5つの研修を行いました。

■**急須の鑄込み実演見学**…急須の形がきれいにでき上がることに、みんな感動しました。歯ブラシスタンドが最近のヒット商品だそうです。

■**電子顕微鏡観察**…試料に電子線を当てて観察することで、焼物の品質向上が可能になるそうです。

■**陶磁器の衝撃強度試験**…陶土にアルミナを30%混ぜると、割れにくい強化食器になるそうです。給食に使っていた強化食器に、懐かしいという声が上がりました。

■**センター紹介ビデオ**…窯業技術センターの役割についてのビデオを視聴し、波佐見焼が全国3位の生産高を誇っていることなども教えていただきました。

■**マグカップの絵付け**…素焼きのマグカップに呉須で絵付けを行いました。センターで焼成していただき、卒業記念品になります。**卒業後、マグカップを使うたびに、波佐見焼の素晴らしさと、研修当日の小春日和を思い出してくれたら幸いです。** (3学年主任 田尻 慎二)



一学年より

夢と希望を抱き、目標を高く掲げて入学してから9ヶ月が経ちましたが、皆さんは自分が思い描いていた高校生活を送ることができているでしょうか。勉強、部活、進路、友人はどうですか?自分に妥協していませんか?**たくさん悩んで、苦しんでください。大人になるための大切な「肥料」になります。**でも、自分だけで解決できそうに無いときはぜひ大人を頼ってください。高校時代は何度でも失敗し、やり直しができる時期です。ただ楽しい生活だけでは、成長することができません。後悔することもできません。**自分を磨くため、ひたすら打ち込める事を見つけて、楽しさの中に充実を味わって欲しい。**そのための一歩を。「待っているだけの人にも何かが起こるかもしれないが、それは努力した人達の残り物だけである」エイブルハム・リンカーン(米国第16代大統領: 奴隷解放の父)「**目標を達成するには、全力で取り組む以外に方法はない。そこに近道はない**」マイケル・ジョーダン(NBAプロバスケットボールプレイヤー)クリスマス[^]。皆さんが、プレゼントに「**断固たる決意で果敢に挑戦する目標**」を手にすることを願っています。(1学年主任 川瀬 啓)

生徒指導部より

冬期休業中は、先輩や友人、親族が帰省し落ち着かない期間となります。特に3年生は、進路も決まり、気が緩んで大変な事故を引き起こす恐れがあります。各学年で目標を定め、来年が素晴らしい年になるように、気を引き締め有意義な生活を送ってください。

下記の3点には特に注意を払ってください。

- 1. 交通事故に注意する。**
免許取りたての先輩や友人の車には絶対に乗らない。毎年この時期から若者の死亡事故が増加します。
- 2. 飲酒・喫煙は絶対にしない。**
冬期休業中は様々なイベントがあります。調子に乗って、軽い気持ちでの飲酒・喫煙が取り返しのつかない事故に繋がります。
- 3. SNSの利用に注意する。**
見知らぬ人と会ったり、誹謗・中傷を書き込んだりと、SNSに関するトラブルが多発する時期です。顔の見えないコミュニケーションは危険だということを理解し行動してください。(生徒指導主事 黒江 英樹)

進路指導部より

「今年をしっかり振り返り、よい新年を迎えよう！」
「いま何をすべきか、一番いやなことから取り組もう」

あっという間に2学期も終わり、2015年を待つばかりとなりました。私の小学校の時には21世紀は車が空を飛んでいて、腕時計で他の人と会話(電話)ができ、授業はパソコンで授業を受けているような表現が多かったものです。実際に世の中では携帯電話こそ普及していますが、それ以外はあまり変わっていないように思えます。

さて、今年1年を振り返りどうだったでしょうか。各学年ごとにいろいろなことがあったことと思いますが、3年生についてはいよいよ就職して社会に出るための準備もしてはなりません。進学をする者、1、2年生については、激動の社会に出る前に様々な力をつけておきたいものです。まずは、**一番大変で、いやなことからチャレンジ**しましょう。特に資格試験については一生の財産となるものです。

そして、今年の正月にはぜひ何か一つ「**家の手伝い**」に取り組みましょう。(進路指導主事 宮崎 恵)

二学年より

2学年の年間スローガンは『のびる一年間のばす一年間』です。本年度も3分の2が過ぎましたが、「伸び具合」はどうでしょうか。

2年生としての期間は、「もう3ヶ月しかない」のではなく、「まだ3ヶ月ある」わけです。倦むことなく自己の向上に努めましょう。冬休みの過ごし方が3学期に大きく影響します。

① **規則正しい生活を送る**

② **課題を中心に計画的、継続的に学習に取り組む**

③ **進路についてじっくりと考える**

『冬にものばす 休みでのびる』をテーマに冬休みを過ごしてください。

3学期も修学旅行や漢字検定の受検等、盛り沢山です。始業式に元気な顔で会いましょう。

(2学年主任 宮原 隆史)

三学年より

高校生活もあと残りわずかとなりました。最後の冬休みです。来年は、いよいよ卒業です。新しい生活に適應するためにも、以下の点に留意しながら、有意義な冬休みを過ごしてください。

各教科から出された**課題**は、今年中に仕上げるように努めること。正月は何かと用事が入るので、早めに仕上げること。

冬休み中に1冊は本を読了すること。漫画本以外の本を選ぶこと。視野が広がり、思考力や集中力も養うことができ、**読書の習慣**をぜひ身に付けること。

部屋の**掃除**や**家の手伝い**を毎日すること。煩わしいとか、雑用だとか思ってはいけない。親孝行でもある。何より、自己を高める修行だと思って取り組むこと。**規則正しい生活**を送ること。朝寝坊は厳禁!学校があっている時と同じ時間に起床し、日中は無為に過ごさず夜更かしもしないこと。正月には、**新年の目標**を立て、その実現に向けて精進すること。4月からは社会人一年生、上級学校一年生となる。社会に貢献できる人間であれ!

(3学年主任 田尻 慎二)